



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 イーソル株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4420 URL <https://www.esol.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 勝敏  
問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 落合 藤夫 TEL 03-5365-1560  
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 2024年9月3日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	6,030	29.2	725	—	760	624.5	570	686.3
2023年12月期中間期	4,667	13.6	△24	—	104	—	72	—

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 404百万円 (198.2%) 2023年12月期中間期 135百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	28.47	—
2023年12月期中間期	3.56	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	6,707	4,820	71.9
2023年12月期	7,635	5,661	74.1

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 4,820百万円 2023年12月期 5,661百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	1.50	—	4.00	5.50
2024年12月期	—	1.50	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	4.00	5.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,099	25.7	988	—	1,006	—	773	465.9	37.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2024年6月20日開催の取締役会決議に基づき、2024年6月28日付で、自己株式1,460,800株の消却を行っておりますが、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の消却の影響を考慮しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) 、除外 1社 (社名) 株式会社オーバス
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	20,000,000株	2023年12月期	21,460,800株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	1,006,146株	2023年12月期	1,063,577株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	20,028,458株	2023年12月期中間期	20,389,171株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善等により、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、地政学的リスクの長期化や急激な為替の変動、原材料等の価格の上昇等により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの組込みソフトウェア事業の主要取引市場である自動車市場では、CASE (Connected つながる車、Autonomous 自動運転、Shared & Service シェアリングサービス、Electric 電動化) をはじめ、Mobility as a Service (モビリティ・アズ・ア・サービス) という言葉も現れており、自動車が単なる移動手段ではなく、社会インフラの一部に変わりつつある中で、同市場は大きな変革期にあります。また、自動車や医療分野を中心に、安全技術への需要が高まっており、機能安全規格の認証取得が求められる傾向にあります。

このような環境の中、当社グループは自動車市場をメインターゲットと位置づけ、ワンストップソリューションの提供に注力するとともに、当社製品に対する研究開発への投資を引き続き行ってまいりました。また、センシングソリューション事業がメインターゲットの1つとしている食肉市場並びに倉庫・物流業界に対し、車載プリンタ並びにハンディターミナルの拡販を進めました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高6,030百万円 (前年同期比29.2%増)、研究開発への投資を行い、営業利益725百万円 (前年同期は営業損失24百万円)、経常利益760百万円 (前年同期比624.5%増)、法人税等調整額の計上により親会社株主に帰属する中間純利益570百万円 (前年同期比686.3%増) となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (組込みソフトウェア事業)

当事業は、幅広い分野における電子機器向けの自社製ソフトウェア製品RTOS (リアルタイム・オペレーティング・システム) の開発・販売、受託開発を主に行っております。その結果、売上高5,558百万円 (前年同期比26.8%増) 及び研究開発への投資を行い、セグメント利益544百万円 (前年同期はセグメント損失66百万円) となりました。

また、当セグメントの売上高の内訳としては、ソフトウェア製商品は1,462百万円 (前年同期比87.0%増)、エンジニアリングサービス等は4,095百万円 (同13.7%増) となりました。

#### (センシングソリューション事業)

当事業は、冷蔵・冷凍食品市場、食肉市場及び物流市場において、車載プリンタやハンディターミナルの販売、新たなセンサネットワーク関連ビジネスを推進いたしました。その結果、売上高308百万円 (前年同期比31.8%増)、セグメント利益11百万円 (前年同期はセグメント損失15百万円) となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は5,245百万円となり、前連結会計年度末に比べて660百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が378百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が305百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は1,461百万円となり、前連結会計年度末に比べて268百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が245百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、6,707百万円となり、前連結会計年度末に比べて928百万円減少いたしました。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は1,575百万円となり、前連結会計年度末に比べて29百万円増加いたしました。これは主にその他の流動負債が109百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が103百万円、未払法人税等が32百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は311百万円となり、前連結会計年度末に比べて117百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が43百万円増加した一方、持分法適用に伴う負債が168百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,886百万円となり、前連結会計年度末に比べて87百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は4,820百万円となり、前連結会計年度末に比べて841百万円減少いたしました。これは主に自己株式が431百万円増加し、利益剰余金が200百万円、その他有価証券評価差額金が170百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物 (以下「資金」という。) は、前連結会計年度末に比べ427百万円減少し、当中間連結会計期間末には3,008百万円になりました。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は896百万円 (前年同期に使用した資金は354百万円) となりました。これは主に税金等調整前中間純利益757百万円、売上債権の減少額309百万円の資金増加要因が、その他の負債の減少額284百万円の資金減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は20百万円 (前年同期に使用した資金は3百万円) となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出28百万円の資金減少要因が、敷金及び保証金の回収による収入23百万円の資金増加要因を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1,258百万円 (前年同期に使用した資金は81百万円) となりました。これは主に自己株式の取得による支出1,177百万円によるものであります。

(4) 業績予測などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,500,193	3,121,498
受取手形、売掛金及び契約資産	1,942,823	1,637,373
商品及び製品	166,532	135,918
仕掛品	88,157	112,246
その他	207,946	238,294
流動資産合計	5,905,653	5,245,332
固定資産		
有形固定資産	240,630	244,873
無形固定資産	121,625	116,596
投資その他の資産		
投資有価証券	1,117,721	872,293
その他	250,219	228,063
投資その他の資産合計	1,367,941	1,100,356
固定資産合計	1,730,197	1,461,826
資産合計	7,635,850	6,707,158
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483,281	586,590
未払法人税等	51,776	84,291
賞与引当金	59,968	62,988
その他	950,764	841,574
流動負債合計	1,545,791	1,575,445
固定負債		
繰延税金負債	39,419	82,830
資産除去債務	122,393	130,501
持分法適用に伴う負債	168,592	—
その他	98,129	98,129
固定負債合計	428,533	311,461
負債合計	1,974,325	1,886,906
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,041,818	1,041,818
資本剰余金	986,311	942,093
利益剰余金	3,255,154	3,054,675
自己株式	△81,113	△512,351
株主資本合計	5,202,171	4,526,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	451,294	280,651
為替換算調整勘定	8,059	13,363
その他の包括利益累計額合計	459,353	294,015
純資産合計	5,661,525	4,820,251
負債純資産合計	7,635,850	6,707,158

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,667,906	6,030,761
売上原価	2,989,782	3,605,206
売上総利益	1,678,123	2,425,554
販売費及び一般管理費	1,702,842	1,700,198
営業利益又は営業損失 (△)	△24,719	725,356
営業外収益		
受取利息	17	25
受取配当金	21,387	28,624
助成金収入	103,009	5,423
その他	10,201	5,074
営業外収益合計	134,615	39,148
営業外費用		
為替差損	4,937	2,766
自己株式取得費用	—	1,352
その他	—	1
営業外費用合計	4,937	4,120
経常利益	104,958	760,383
特別利益		
投資有価証券売却益	—	862
特別利益合計	—	862
特別損失		
固定資産除却損	—	4,156
特別損失合計	—	4,156
税金等調整前中間純利益	104,958	757,089
法人税、住民税及び事業税	21,589	67,764
法人税等調整額	10,841	119,021
法人税等合計	32,431	186,785
中間純利益	72,527	570,303
親会社株主に帰属する中間純利益	72,527	570,303

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	72,527	570,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,628	△170,642
為替換算調整勘定	5,666	5,304
その他の包括利益合計	63,295	△165,338
中間包括利益	135,823	404,965
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	135,823	404,965

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	104,958	757,089
減価償却費	44,453	46,097
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,139	3,020
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,870	—
受取利息及び受取配当金	△21,405	△28,649
為替差損益 (△は益)	△1,242	△883
固定資産除却損	—	4,156
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△862
自己株式取得費用	—	1,352
助成金収入	△103,009	△5,423
売上債権の増減額 (△は増加)	△116,377	309,122
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△161,581	6,524
仕入債務の増減額 (△は減少)	60,581	103,308
その他の資産の増減額 (△は増加)	4,308	△19,213
その他の負債の増減額 (△は減少)	△182,039	△284,689
その他	1,326	1,770
小計	△369,757	892,720
利息及び配当金の受取額	21,362	28,647
助成金の受取額	4,534	5,423
法人税等の支払額	△10,538	△29,926
営業活動によるキャッシュ・フロー	△354,398	896,865
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△9,418	△28,022
無形固定資産の取得による支出	△938	△5,349
資産除去債務の履行による支出	—	△9,518
投資有価証券の取得による支出	—	△1,000
投資有価証券の売却による収入	—	1,328
敷金及び保証金の回収による収入	—	23,753
その他	6,366	△1,943
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,990	△20,751
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△39	△1,177,501
配当金の支払額	△81,565	△81,198
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,605	△1,258,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,993	3,889
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△431,000	△378,695
現金及び現金同等物の期首残高	3,867,071	3,387,269
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,436,070	3,008,573

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 自己株式の取得

当社は、2024年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,417,000株の取得を行いました。これにより、当中間連結会計期間において自己株式が1,176,110千円増加いたしました。

2. 自己株式の消却

当社は、2024年6月20日開催の取締役会決議に基づき、2024年6月28日付で、自己株式1,460,800株の消却を行いました。これにより、当中間連結会計期間において資本剰余金が54,674千円、利益剰余金が689,194千円、自己株式が743,868千円それぞれ減少いたしました。

この結果、当中間連結会計期間末において資本剰余金が942,093千円、利益剰余金が3,054,675千円、自己株式が512,351千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I. 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	組込み ソフトウェア事業	センシング ソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	4,376,549	233,797	4,610,347
ソフトウェア製商品	782,001	—	782,001
ハードウェア製商品	—	233,797	233,797
エンジニアリングサービス	3,594,547	—	3,594,547
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,376,549	233,797	4,610,347
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,653	—	6,653
計	4,383,203	233,797	4,617,000
セグメント損失 (△)	△66,382	△15,895	△82,278

2. 報告セグメント合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	4,617,000
セグメント間取引消去	△6,653
未実現利益の調整額	57,559
中間連結損益計算書の売上高	4,667,906

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△82,278
未実現利益の調整額	57,559
中間連結損益計算書の営業損失	△24,719

Ⅱ. 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	組込み ソフトウェア事業	センシング ソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	5,553,921	308,247	5,862,169
ソフトウェア製商品	1,462,698	—	1,462,698
ハードウェア製商品	—	308,247	308,247
エンジニアリングサービス	4,091,222	—	4,091,222
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,553,921	308,247	5,862,169
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,083	—	4,083
計	5,558,004	308,247	5,866,252
セグメント利益	544,914	11,849	556,764

2. 報告セグメント合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

売上高	金額
報告セグメント計	5,866,252
セグメント間取引消去	△4,083
未実現利益の調整額	168,592
中間連結損益計算書の売上高	6,030,761

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	556,764
未実現利益の調整額	168,592
中間連結損益計算書の営業利益	725,356